

本市における新型コロナウイルス感染症の対応状況について

1 発生状況

	令和4年8月1日 ～15日	令和4年8月16日 ～31日	令和4年9月1日 ～15日	令和4年9月16日 ～30日	令和4年10月1日 ～7日
感染者数 (人)	29,687	29,773	11,907	4,251	1,234

2 年齢構成

年代	令和4年8月1日 ～15日		令和4年8月16日 ～31日		令和4年9月1日 ～15日		令和4年9月16日 ～30日		令和4年10月1日 ～7日	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
0～10代	8,008	27.0	7,557	25.4	3,670	30.8	1,215	28.6	383	31.0
20～30代	8,068	27.2	7,937	26.7	3,085	25.9	1,106	26.0	343	27.8
40～50代	7,768	26.2	7,976	26.8	2,944	24.7	1,121	26.4	317	25.7
60～70代	4,071	13.7	4,491	15.1	1,512	12.7	522	12.3	129	10.5
80代以上	1,772	6.0	1,812	6.1	696	5.8	287	6.8	62	5.0
合計	29,687		29,773		11,907		4,251		1,234	

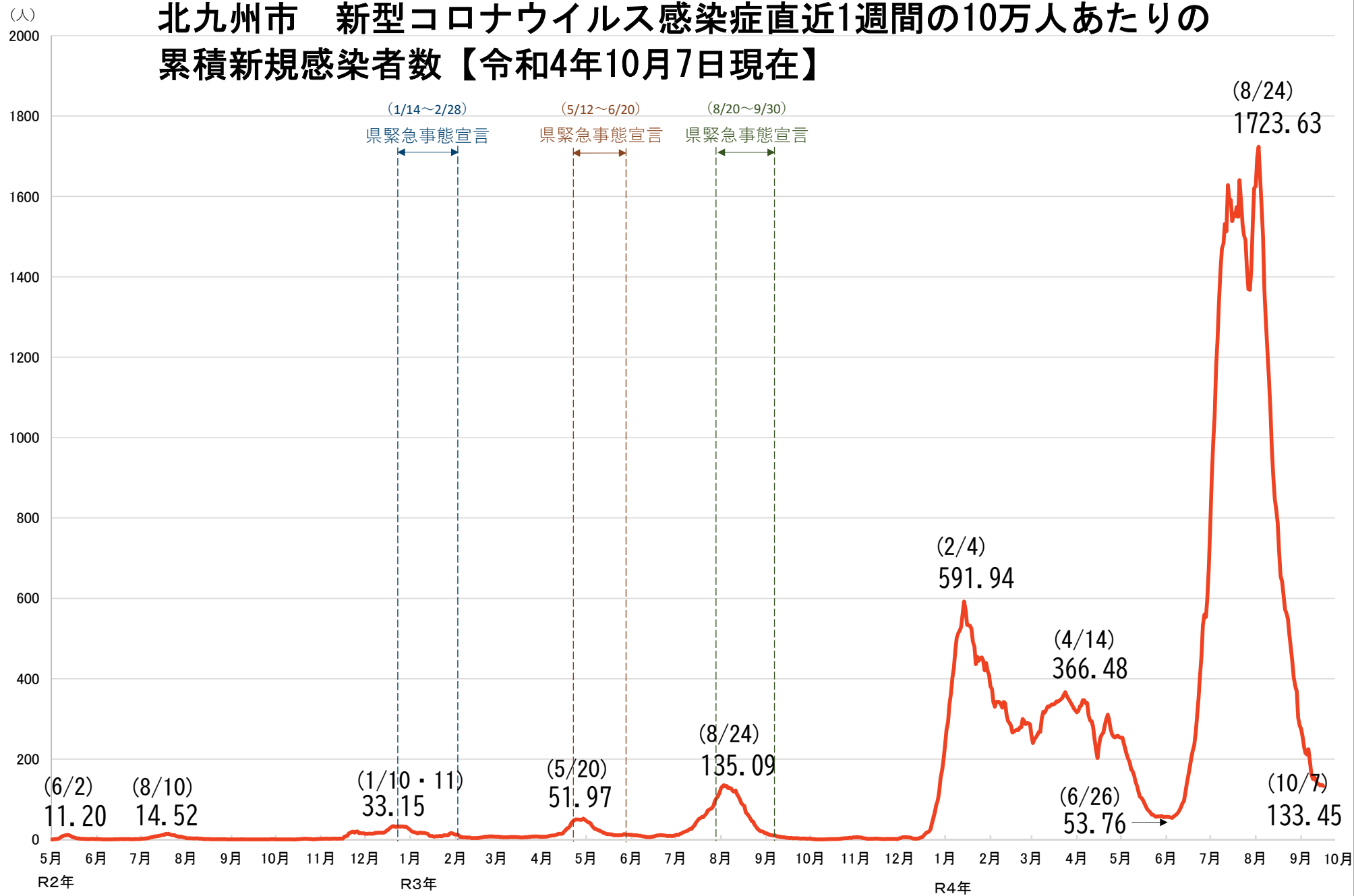
3 市内病床の使用率

時点 指標	8月15日	8月31日	9月15日	9月30日	10月7日
確保病床 使用率	77.2% (275/356床)	53.8% (204/379床)	43.4% (168/387床)	23.2% (92/396床)	16.6% (66/396床)
重症病床 使用率	12.9% (4/31床)	6.4% (2/31床)	9.6% (3/31床)	3.2% (1/31床)	0.0% (0/31床)

4 療養者の状況

症状	8月15日		8月31日		9月15日		9月30日		10月7日	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
無症状	194	0.9	134	0.7	60	1.1				
軽症	20,969	98.7	18,061	98.9	5,135	98.0				
中等症	69	0.3	69	0.4	42	0.8				
重症	6	0.0	3	0.0	3	0.1				
確認中	0	0.0	0	0.0	0	0.0				
療養者合計	21,238		18,267		5,240					

# 北九州市 新型コロナウイルス感染症直近1週間の10万人あたりの 累積新規感染者数【令和4年10月7日現在】



## 本市における新型コロナウイルス感染症の対応状況について

### 1 病床について（10月7日現在）

福岡県確保病床 2,024床（うち重症病床217床）

本市確保病床 396床（うち重症病床 31床）

### 2 宿泊療養施設について

福岡県 12施設 2,432室

うち本市 2施設 340室

コンフォートホテル小倉（189室）

JR九州ホテル小倉（151室）

※コンフォートホテル小倉は9月17日から休止

### 3 診療・検査体制について

#### （1）診療・検査医療機関（発熱外来）

市内約450医療機関

#### （2）福祉施設等への抗原検査キット配布

希望する高齢者・障害者施設や保育所・幼稚園・放課後児童クラブ・市立学校等に抗原定性検査キットを配布

#### （3）福岡県キット配付・陽性者登録センター

重症化リスクが低いと考えられる65歳未満の有症状者及び濃厚接触者を対象に抗原定性検査キットを配付

配付対象者について、8月17日から40歳未満を65歳未満に拡大、8月22日から濃厚接触者を追加

#### （4）福岡県無料検査（10月7日現在）

県内600カ所 うち市内116カ所

### 4 全数届出の見直し

新型コロナウイルス感染症に係る「発生届」について、9月26日以降、届出の対象を、(a)65歳以上の者、(b)入院を要する者、(c)重症化リスクがあり治療薬・酸素投与が必要と医師が判断する者、(d)妊婦に限定。発生届の対象とならない方が体調悪化時等に連絡・相談できる体制を整備・強化。

#### （1）自宅療養者相談ダイヤル

30ブース新たに設置（既存20ブース）

**(2) 自宅療養者相談ダイヤル受付件数** (10月7日現在)

期間	受付件数	期間中判明の陽性者数
9月26日～10月7日	363	2,232

**5 保健所の体制について**

行政医師や保健師を含む保健所職員の増員、応援体制の構築、業務のアウトソーシング、事務の効率化等を進め、機能強化や職員の負担軽減を図っている。相談ナビダイヤルを20ブースから50ブースに拡充。